

システムソフトウェアアップグレードガイド

- このソフトウェアおよびアップグレードガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社所有します。
- 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。
- このソフトウェアおよびアップグレードガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびアップグレードガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このアップグレードガイドに記載されている画面やイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、以下のウェブサイトをご参照ください。
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>
- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

| | |
|---|---|
| PM1D システムをご使用の前に | 1 |
| 動作環境..... | 1 |
| システムアップデート方法..... | 2 |
| 1. ファームウェアのアップデート方法 (CS1D/DSP1D(-EX)/AI8/AO8/DIO8) | 2 |
| 2. CS1D 画面ソフトウェアのアップデート方法..... | 4 |
| 3. メモリーの初期化方法..... | 4 |
| バージョンチェック機能について..... | 5 |
| ソフトウェアのご使用条件..... | 7 |

PM1Dシステムをご使用の前に

PM1Dシステムでは、CS1D/DSP1D(-EX)/AI8/AO8/DIO8(以下、各コンポーネント)が独立して動作するために各コンポーネントにソフトウェアが組み込まれています。そのためすべてのソフトウェアを必要なバージョンにアップデートして、整合をとる必要があります。この作業を怠ると、CS1Dのバージョンチェック機能が働くので正常に起動しません。

一度システム全体の整合をとれば以後はアップデートする必要はありません。ただし新規にユニットを追加する場合や、バージョンアップをする場合には再度アップデートをする必要があります。



- システムアップデート後は、必ずINITIALIZE ALL MEMORIESを行なってください。INITIALIZEを怠った場合、動作保証は致しません。

動作環境

アップデート作業には、次のシステム構成が必要です。

- Pentium II 233MHz以上およびメモリ64MB以上を持つ IBM PC/AT互換のコンピューター(Pentium II 350MHz以上およびメモリ128MB以上を推奨)

NOTE :

- ご使用環境やOSの種類によっては、上記以上の性能が必要な場合があります。
- ノート型コンピューターをご利用の場合、上記システム構成の最低基準よりも高い性能が必要になる場合があります。また、Windowsのコントロールパネルにある電源オプション設定やノート向けCPU固有の電源制御システム(SpeedStep(Intel社製)、PowerNow!(AMD社製)、LongRun(Transmeta社製)などの設定は、通信機能が不安定になる原因になります。これらの機能をオフに設定し、電源アダプターを使用した状態でご使用ください。

- Windows 95 (OSR2以降)、Windows 98 (Second Editionも含む)、Windows Me、Windows NT 4.0 (Service Pack 6a以降)、Windows 2000、またはWindows XP Home Edition/Professional
- 解像度800x600ドット(SVGA、High Color)以上表示可能な環境
- 10MB以上のハードディスクの空き容量

- ・ マウス
- ・ シリアルポート
- ・ RS-232Cケーブル(クロス接続)
- ・ PCMCIA Type IIに対応したATA規格に準ずるPC FLASH STORAGE CARD (以下、メモリーカード) × 1枚
- ・ PCMCIA Type II CARD SLOTを持つ機器(ダウンロードしたファイルをメモリーカードにコピーできる環境)

システムアップデート方法

システムアップデートの際には、すべてのコンポーネントに対してアップデート作業を行なう必要があります。下記の手順でファームウェアアップデートとCS1D画面ソフトウェアアップデートを行なってください。

あらかじめウェブサイトからアップデートファイル「pm1d_system***.zip」(***はバージョン番号)をダウンロードして、解凍しておいてください。
<http://proaudio.yamaha.co.jp/download/index.html>

! 本システムを使ってお客様が作成されたシーンデータなどは、アップデート作業前に必ずメモリーカードへバックアップしてください。アップデート作業をすると本体内のデータが失われます。メモリーカードにデータを保存する方法については、リファレンスマニュアル(ソフトウェア編)をご参照ください。

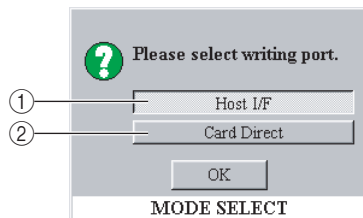
⊘ アップデート中は絶対にシステムの電源を切らないでください。また、アップデート中にケーブルの抜き差しも行わないでください。PM1D Version 2のシステムソフトウェアをアップデートしている場合は、ライセンス情報が消えてしまうことがあります。もしアップデートが途中で中断されてしまった場合は、各コンポーネントの電源を一旦オフし、5秒以上経ってから再び電源をオンして再度書き込みを行なってください。

1. ファームウェアのアップデート方法 (CS1D/DSP1D(-EX)/AI8/AO8/DIO8)

各コンポーネントのファームウェアアップデートにはソフトウェア「PM1DLOAD」を用います。基本的な操作方法と各ファームウェアのアップデート方法について以下に説明します。

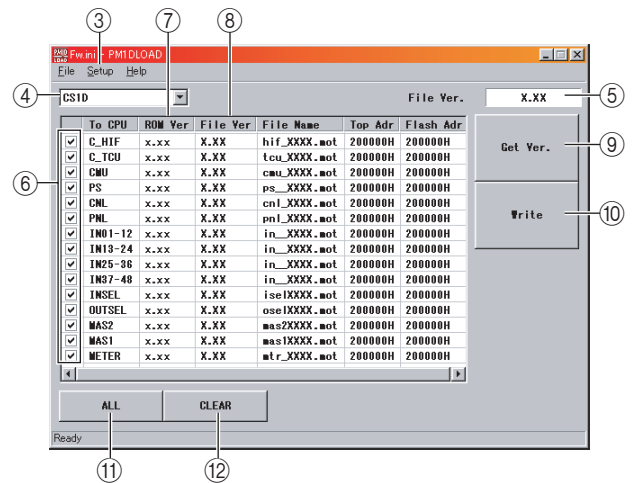
[PM1DLOAD 各画面説明]

MODE SELECT(モードセレクト)画面



- ① シリアルポート経由書き込みモード
必ずこちらを選択してください。
- ② 基板直接書き込みモード
選択しないでください。

メイン画面



③ [Setup] メニュー

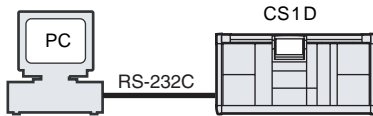
| | |
|------------------|---------------------------|
| Serial Port | コンピューター側で使用するシリアルポートを選択 |
| Connection Point | PM1D システム側で使用するシリアルポートを選択 |
| Fonts | 表示フォントを変更 |

- ④ 対象選択メニュー 書き込みたいコンポーネントを指定
- ⑤ 全体バージョン これから書き込むバージョンの表示 (総称としてのバージョン)
- ⑥ 書き込みチェック欄 ... 書き込み対象の選択用チェックボックス
- ⑦ ROM バージョン欄 現在書き込まれているバージョンの表示
- ⑧ File バージョン欄 これから書き込むバージョンの表示
- ⑨ [GetVer.] ボタン ROM バージョンを取得するためのボタン
- ⑩ [Write] ボタン 書き込みチェック欄 ⑥ のチェック項目すべてに対し、ファームウェア書き込みを開始するボタン
- ⑪ [ALL] ボタン 書き込みチェック欄 ⑥ のチェックをすべて付ける
- ⑫ [CLEAR] ボタン 書き込みチェック欄 ⑥ のチェックをすべて外す

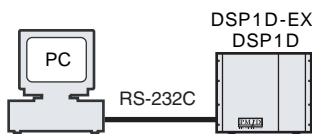
[PM1DLOAD 使用方法]

1-1 アップデート対象の種類により、下記の経路にてコンピューター(PCと表記)からファームウェアが伝送されアップデート作業が行なわれるため、RS-232Cケーブル(クロス接続)、D-Sub ハーフピッチ 68pin ケーブルを用いて、下記の伝送経路が確保できるように接続し電源を入れます。

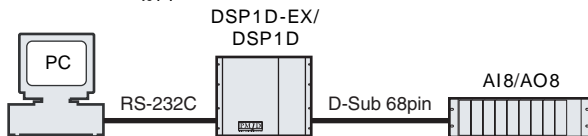
・ CS1D の場合



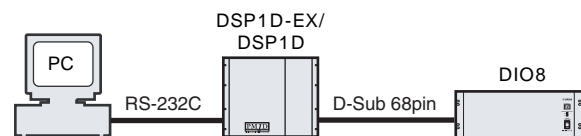
・ DSP1D-EX の場合 / DSP1D の場合



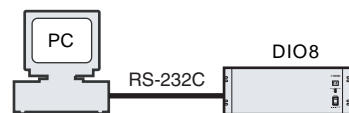
・ A18 / AO8 の場合



・ DIO8 の場合(DSP1D経由)



・ DIO8(Direct)の場合



- ・ PM1Dシステムを使ってお客様が作成されたシーンデータなどは、アップデート作業前に必ずメモリーカードへバックアップしてください。また、スピーカーやアンプなどの電源はオフにし、出力のボリュームはすべて最小とし、音声信号は入力しないでください。
- ・ 上図に示した以外にアップデートに関係しないコンポーネントが接続されている場合には、それらの電源をオフにしてください。
- ・ A18/AO8をアップデートする際、以下の制限事項があります。これらが守られない場合、アップデートできない可能性があります。
 - アップデートに使用する68pinケーブルが接続されているポートと、ユニットにあるセレクトスイッチで選択されているポートを合わせる。
 - ファームウェアが空の場合(A18/AO8の7-セグメント表示器が88と表示、上記を満たした後再度電源を入れます。ただし、そのタイミングは、ユニット毎にアップデートの直前に行なってください。
- ・ DIO8をDSP1D経由でアップデートする際、以下の制限事項があります。これらが守られない場合、アップデートできない可能性があります。
 - DIO8のOUTPUT AとDSP1DのINPUTポートのどちらかを接続する。

1-2 アップデート前に他のソフトウェアや常駐プログラムをすべて終了します。

1-3 ダウンロードして解凍しておいた「pm1d_system***」フォルダー(***はバージョン番号)の中の「LOADER」フォルダーを開き、「PM1DLOAD.exe」ファイルをダブルクリックします。

1-4 PM1DLOADが起動し、モードセレクト画面が出たら Host I/F ①を選択し、OKをクリックします。

NOTE : MODE SELECT (モードセレクト) 画面で Card Direct ② を選択すると、アップデートできません。

1-5 アップデートソフトウェアPM1DLOADが起動したら、[Setup]メニュー③のSerial Portの欄にてコンピューター側のシリアルポートを選択します。
使用可能なCOMポートは、COM1～COM9です。

1-6 [Setup]メニュー③のConnection Pointの欄にて、手順1-1でコンピューターと接続した接続先を指定します。
DIO8(Direct)はこの設定を無視します。設定する必要はありません。

1-7 対象選択メニュー④からアップデートしたいコンポーネントを選択します。
DIO8にコンピューターを直接接続してアップデートする場合は、[DIO8(Direct)]を選択します。

1-8 [GetVer.]ボタン⑨をクリックします。現在の各ファームウェアのバージョンが表示されますので、リストのROMバージョン欄⑦とFileバージョン欄⑧を比較し、バージョンの異なるすべての行にチェックマークを付けます。

NOTE :

- ・ ファームウェアが消去されている場合にはバージョンは表示されません。その場合にもチェックマークを付けてください。
- ・ AO8はポートBからバージョンが取得できない場合がありますが、制限事項に従った接続/設定がなされていれば書き込みは可能です。

1-9 [Write]ボタン⑩をクリックします。手順1-8でチェックされた項目のアップデートが開始されます。
なお1度でも書き込み動作に入ると、CS1Dの画面上には「If loading is completed, Please re-start.」というメッセージが表示されます。

NOTE : A18/AO8、DIO8のDSP1D経由での場合は手順1-1に記した制限事項のためにアップデートされないユニットがある可能性があります。(この場合、ユニットをスキップした旨を伝えるメッセージが表示されます。)

1-10 アップデートが完了したら、アップデート対象のコンポーネントの電源を入れなおします。

1-11 [GetVer.]ボタン⑨をクリックします。アップデート対象のコンポーネントのROMバージョン欄⑦とFileバージョン欄⑧が同じになるか確認します。
取得できない場合、またはバージョンが食い違う場合はアップデートが失敗しているので、手順1-8から繰り返します。

1-12 すべてのコンポーネントがアップデートされるまで 手順1-1から1-11までを繰り返します。

2. CS1D画面ソフトウェアのアップデート方法

CS1D画面ソフトウェアのアップデートには、メモリーカードを1枚使用し、ダウンロードしたファイルをメモリーカードを媒介にCS1D内へコピーします。この手順の前に必ず前項のファームウェアのアップデートを行なってください。

- 2-1 市販のメモリーカードとそれを読み書きできる環境 (PCMCIA Type IIスロットがあるノート型コンピューターなど)を準備します。
また、CS1D本体の電源を切っておきます。
- 2-2 FAT16でフォーマット済みのメモリーカードをコンピューターに挿入します。
フォーマット方法についてはコンピューターやカードの説明書を参照してください。
- 2-3 ダウンロードして解凍しておいた「pm1d_system***」フォルダー(***はバージョン番号)の中の「CS1DAPP」フォルダーを開き、[編集]メニューから[すべてを選択]を選択します。
続いて、同じく[編集]メニューから[コピー]を選択します。
- 2-4 「マイコンピューター」から挿入したメモリーカードのドライブを開きます。
- 2-5 [編集]メニューから、[貼り付け]を選択します。
- 2-6 コピーが完了したら、メモリーカードを取り出します。
カードの取り外し方法についてはコンピューターやカードの説明書を参照してください。
- 2-7 メモリーカードをCS1DのPC ATA STORAGE CARDスロットのAまたはBへ挿入し、CS1Dの電源を入れます。
通常の起動タイトル画面が出なくなり、アップデートモードになります。
- 2-8 「START?」と画面に表示されたら、トラックパッドを使ってOKボタンをクリックします。
このとき、CANCELボタンをクリックするとCS1Dは停止状態になります。挿入したカードを抜き、CS1Dを再起動してください。
- 2-9 「COPY OK」の表示が出たら挿入したカードを抜き、CS1Dおよびすべてのコンポーネントを再起動します。
CS1DのLCD画面に、VERSION CHECKポップアップ(5ページ)が表示されないことを確認してください。

NOTE: 失敗している場合は、VERSION CHECKが失敗した旨のポップアップが表示されます。その場合は、設定および接続を確認した上で、ファームウェアのアップデートをし直してください。

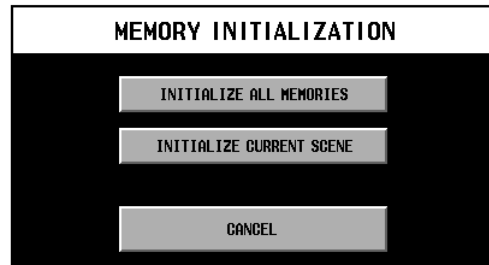


- ・PC ATA STORAGE CARDスロットにはメモリーカードを1枚だけ挿入してください。他の空きスロットに同時にカードを挿入しておくと正しくアップデートできない可能性があります。
- ・全システムをアップデートした場合は、必ずINITIALIZE ALL MEMORIESを行なってください。初期化をしない場合の動作保証は致しません。

3. メモリーの初期化方法

ファームウェアおよびCS1D画面ソフトウェアをアップデートしたあとは、必ずメモリーを初期化してください。

- 3-1 パワーサプライPW1Dの電源を一度切ります。
- 3-2 PW1Dの電源を入れなおし、CS1DのLCDディスプレイにオープニング画面が表示された後、データエントリーブロックのトラックパッドの下にある左右のスイッチを、ディスプレイに次のような表示が現れるまで押し続けます。



- 3-3 トラックパッドと左右スイッチを使って、「INITIALIZE ALL MEORY」を選択します。
次のように表示が変わります。



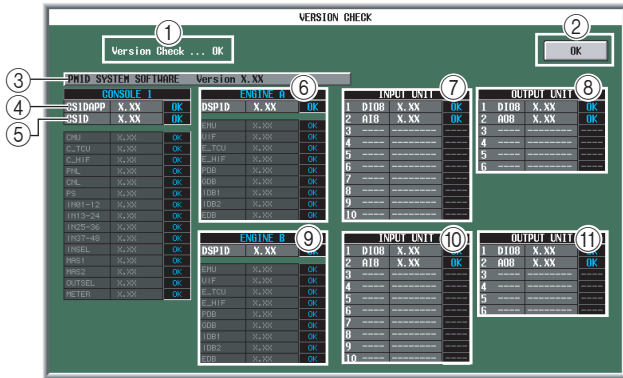
“INITIALIZE ALL MEMORY”は全てのメモリーを初期化します。メモリー可能なパラメーターは、全て工場出荷時の状態に戻ります。

- 3-4 トラックパッドの左右スイッチを使って、OKを選択します。
初期化した後、システムが起動します。

以上でアップデート作業は完了しました。

バージョンチェック機能について

CS1D画面ソフトウェアには、全コンポーネントのソフトウェアバージョンが正常な組み合わせとなっているかをチェックする機能が組み込まれています。異なるバージョンの組み合わせや故障した部位があると、CS1Dの起動時にVERSION CHECKポップアップが現れます。全コンポーネントが正常な場合には現れません。ここではこれらのバージョンチェック機能について説明します。



- ① 判定メッセージ欄
- ② OK ボタン (表示されないこともあります)
- ③ PM1D SYSTEM SOFTWARE バージョン表示欄
- ④ CS1D 画面ソフトウェアバージョン表示欄
- ⑤ CS1D ファームウェアバージョン表示欄
- ⑥ ENGINE A 側 DSP1D(-EX) ファームウェアバージョン表示欄
- ⑦ ENGINE A 側 INPUT UNIT ファームウェアバージョン表示欄
- ⑧ ENGINE A 側 OUTPUT UNIT ファームウェアバージョン表示欄
- ⑨ ENGINE B 側 DSP1D(-EX) ファームウェアバージョン表示欄
- ⑩ ENGINE B 側 INPUT UNIT ファームウェアバージョン表示欄
- ⑪ ENGINE B 側 OUTPUT UNIT ファームウェアバージョン表示欄
- ④から⑪の各バージョン表示欄は以下のような意味を持っています。

| ⑫ | ⑬ | ⑭ |
|--------|-------|-------|
| 1 D108 | X.XX | OK |
| 2 A18 | X.XX | OK |
| 3 | ----- | ----- |
| 4 | ----- | ----- |
| 5 | ----- | ----- |
| 6 | ----- | ----- |
| 7 | ----- | ----- |
| 8 | ----- | ----- |
| 9 | ----- | ----- |
| 10 | ----- | ----- |

- ⑫ コンポーネント名またはファームウェア名
- ⑬ ⑫ に対するファームウェアバージョン表示欄
- ⑭ 判定結果

これらの表示のうち、白文字表示されている行はそのコンポーネント全体としてのバージョンを表しています。また、他の行よりも小さい文字で灰色表示されている行はさらに細かくコンポーネント内部の各 CPU に対するファームウェアのバージョンを示しています。これらのうち ⑬⑭ の表示については以下の種類があります。

⑬の表示一覧

| | |
|-----------|-----------------------------|
| x.xx (数値) | ファームウェアバージョン |
| NO REPLY | コンポーネント内部の CPU が応答しない |
| ----- | DSP1D(-EX) に基板が未挿入 |
| DIFF. | DSP1D(-EX) に基板が間違っって挿入されている |

⑭の表示一覧

| | |
|------|--|
| OK | 正常 |
| ---- | 未接続 (正常) |
| NG | コンポーネント内部のファームウェアバージョンが不正もしくはコンポーネント内部の CPU が応答しない |
| OLD | バージョンが古い |
| NEW | バージョンが新しい |
| DIFF | バージョンの組み合わせが不正 |

上記の判定を総合して、①の部分にメッセージが表示されます。このポップアップが現れた場合は、次の説明を参考に原因を取り除いてください。

[OK以外の判定について]

INPUT UNIT/OUTPUT UNITとCS1Dの操作子制御用のファームウェア以外に異常がある場合はOKボタン②が現れません。この場合、画面操作や操作子操作がまったくできない状態となりシステムがコントロールできなくなります。

このままでは正常動作が保証されない状態です。問題となった原因を取り除いてください。原因を取り除くまでは回復しませんのでご注意ください。

INPUT UNIT/OUTPUT UNITとCS1Dの操作子制御用のファームウェアに異常がある場合は、OKボタン②が現れます。

OKボタンをクリックすると、異常があるコンポーネントまたはコンポーネントの一部を無視して強制起動します。

このとき、どのコンポーネントを無視したかを確認するためのポップアップが出て以下の制限をしますが、他の正常なコンポーネントは動作するため残りの部分でシステムをコントロールすることができます。

INPUT/OUTPUT UNIT部分

| | |
|------------------------|-------------------------|
| INPUT UNIT が OK 以外の場合 | 該当 UNIT だけミュート・コントロール不能 |
| OUTPUT UNIT が OK 以外の場合 | 該当 UNIT だけミュート・コントロール不能 |

CONSOLE 部分

| | |
|-----------------------|--|
| INPUT01-12 が OK 以外の場合 | INPUT ブロック (CS1D 左下) 操作不能 |
| INPUT13-24 が OK 以外の場合 | INPUT ブロック (CS1D 左上) 操作不能 |
| INPUT25-36 が OK 以外の場合 | INPUT ブロック (CS1D 右下) 操作不能 |
| INPUT37-48 が OK 以外の場合 | INPUT ブロック (CS1D 右上) 操作不能 |
| INSEL が OK 以外の場合 | SELECTED INPUT CHANNEL ブロック 操作不能 |
| MAS1 が OK 以外の場合 | MIX OUTPUT / DCA GROUP ブロック操 作不能 |
| MAS2 が OK 以外の場合 | MIX OUTPUT / DCA GROUP ブロック操 作不能 |
| OUTSEL が OK 以外の場合 | SELECTED OUTPUT CHANNEL ブロッ ク、SCENE MEMORY ブロック、 MASTER ブロック、LCD FUNCTION ACCESS ブロック、USER DEFINE ブ ロック、STEREO OUTPUT ブロック、 データエントリーブロック (トラック パッド & 左右スイッチは除く) 操作不能 |
| METER が OK 以外の場合 | メーターブリッジブロック機能停止 |

これらの制限は、問題になった原因を取り除きCS1Dの電源を再度入れることで回復します。

NOTE :

- ・ これらの問題は通常、システムアップデートを実行すれば改善されますが、それでも改善されない場合は、お手数ですが当社サービスセンターまでご連絡ください。
- ・ UNIT に異常がある場合は D-Sub ハーフピッチ 68pin ケーブルの接触不良もお確かめください。ピンが折れ曲がっていたり、押し込まれていると正常に動作しません。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

ソフトウェア使用許諾契約

1 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・ お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- ・ バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的のみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。

2 使用制限

(1)本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- ・ 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- ・ 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- ・ 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

3 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

5 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様がソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

6 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます。）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- ・ 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・ 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・ 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

■ PM1D に関するお問い合わせ窓口

プロオーディオインフォメーションセンター

TEL: 03-5791-7678

FAX: 03-5488-6663

受付日: 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

受付時間: 11:00～19:00

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

■ 営業窓口

| | | |
|-----------------------|----------------------------|------------------|
| CA 営業部 営業推進グループ | 〒 108-8568 東京都港区高輪 2-17-11 | TEL 03-5488-5472 |
| PA・DMI 事業部 CA 事業開発推進部 | 〒 430-8650 浜松市中沢町 10-1 | TEL 053-460-2455 |

* 名称、住所、電話番号、URL などに変更になる場合があります。

| |
|--|
| ヤマハプロオーディオウェブサイト http://proaudio.yamaha.co.jp/ ヤマハマニュアルライブラリー http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/ |
|--|